

製品名: GATA-5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11315**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	GATA5
別名	GATA5; Transcription factor GATA-5; GATA-binding factor 5
遺伝子 ID	140628.0
SwissProt ID	Q9BWX5
免疫原	抗血清はヒト GATA-5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 244-293

背景

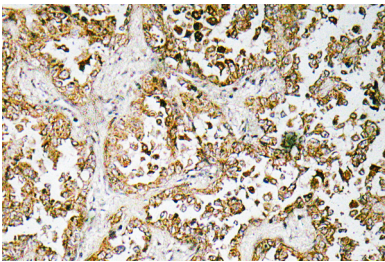
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、2つの GATA 型ジンクフィンガーを含む転写因子です。コードされるタンパク質は肝細胞核因子 1 α (HNF-1 α) に結合することが知られており、この相互作用は腸管ラクターゼ-フロリジン加水分解酵素プロモーター

の協調的活性化に不可欠です。他の生物においても、同様のタンパク質が心臓平滑筋細胞の多様性の確立に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: 心臓特異的スロー/心筋トロポニン C 転写エンハンサーにおける機能的に重要な CEF-1 核タンパク質結合部位に結合します。平滑筋細胞の多様性の基盤となる転写プログラムにおいて重要な役割を果たす可能性があります。類似性: 2つの GATA 型ジンクフィンガーを含みます。、

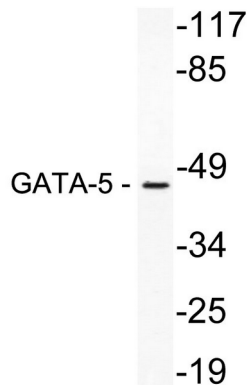
研究分野

-

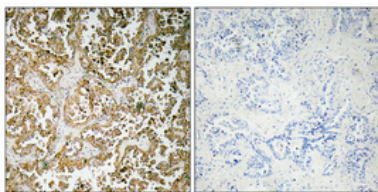
画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における GATA-5 抗体の免疫組織化学分析。



GATA-5 抗体を使用した NIH/3T3 細胞の溶解液のウエスタン プロット分析。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。